

[トピックス]

株式会社相互電設よりポータブル電源 を寄贈いただきました

株式会社相互電設（宇都宮市）より、-80°C超低温フリーザー非常時用のポータブル電源を寄贈いただきました。

生物工学研究室では、現在、いちご約10,000種類の遺伝子、にら約5,000種類の遺伝子を保管しており、品種開発におけるDNAマーカー（生物の遺伝情報を識別・比較するための「遺伝子配列」）の開発や機能解析に活用されています。これらの貴重な遺伝子資源は、-80°Cの超低温フリーザーにより厳重に保管されていますが、停電時のバックアップ電源の確保が課題となっていました。

今回寄贈いただきましたポータブル電源は、停電時における遺伝子資源の保護に重要な役割を果たすものであり、栃木県のブランドを支える新品種の開発により安心して取り組むことができます。

株式会社相互電設のご厚意に心より感謝申し上げます。



写真2 ポータブル電源

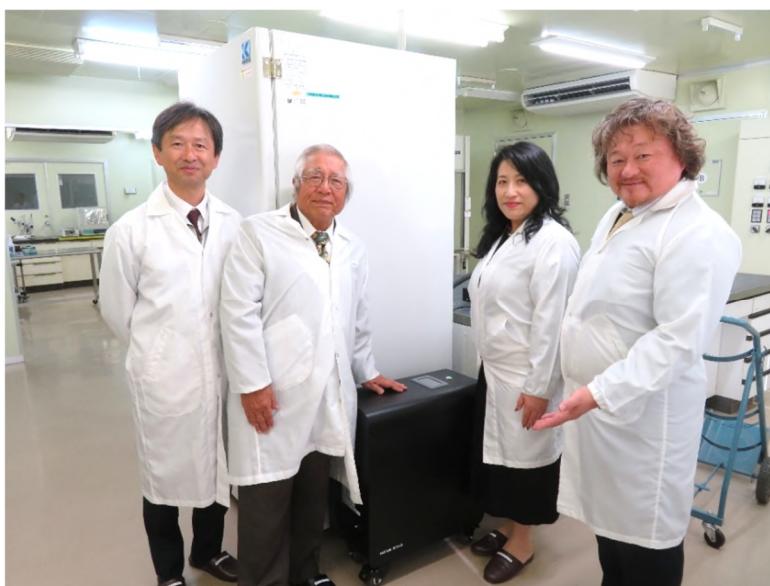


写真1 生物工学棟クリーンルームにて超低温フリーザー前に設置した「ポータブル電源」

(左) 株式会社相互電設会長 平塚 健 様
(中央) ツ 代表取締役 平塚 美紀 様
(右) ツ 専務 平塚 憲浩 様
(最左) 柴田所長



写真3 超低温フリーザー内

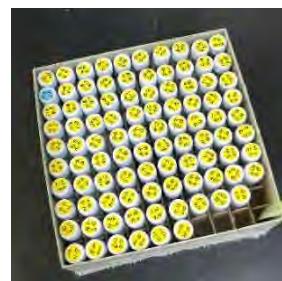


写真4 遺伝子保存サンプル

[お知らせ]

病害虫発生予察情報を発表しました

・令和7(2024)年度病害虫発生予報 第8号(11月)

皆様の声をお聞かせください!!

発行者 栃木県農業総合研究センター
〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1080
Tel 028-665-1241 (代表) Fax 028-665-1759
MAIL nougyou-s@pref.tochigi.lg.jp



発行日 令和7(2025)年11月28日

事務局 研究開発部
Tel 028-665-1264 (直通)

当ニュース記事の無断転載を禁止します。